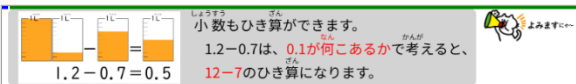
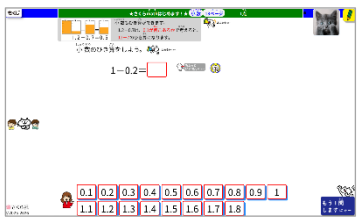


付けたい力：

- ・「0.1が何こあるか」という考え方で、小数のひき算の意味を理解する。
- ・小数のひき算に慣れて、正確に計算することができる。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 復習問題を解いて、既習事項を確認する。 T：算数を始めます。 この問題を解きましょう。 T：時間です。答を言います。</p> <p>2 めあてを確認する。 T：この時間は、小数のひき算を学習します。</p> <p>3 教科書にある例題の解き方を読む。 T：引かれる数と引く数が、それぞれ0.1が何こあるか考えると分かりやすいですね。</p> <p>4 <さくら math>を使って、「0.1が何こあるか」という考え方をを使った計算の仕方を理解する。</p>  <p>T：「0.1が何こあるか」で考えると、どんなひき算になりますか。 T：答えは、いくつですか。</p> <p>5 <さくら math>を起動して、自分一人で課題に挑戦する。</p>  <p>T：連続正解をめざしましょう。 T：自信がいたら、教科書の問題をノートに解きましょう。</p> <p>6 本時のまとめ、ふりかえりをする。 T：今日できるようになったことを言しましょう。</p>	<p>1 前時までに取り組んだ、小数の大小や、小数のたし算の課題を配付する。 ・終了時刻を明示する（できれば、「タイマタイマー」などを使うとよい）。 ・答のみ読み上げる。すぐに回収する。</p> <p>2 めあてを板書する（または、大型モニタやプロジェクターで提示する）。</p> <p>3 例題を大型モニタなどで提示する。 ・単元を通して、小数点は「、」ではなく「.」と書くこと、マス目の境目に書くことを確認する。</p> <p>4 声に出したり、「よみたい」アイコンをクリックしたりして、音読で確認する。 ・5問程度一緒に解く。児童の反応を見て展開5に進む。 ・1 - 0.3のような問題が示されたら、必要に応じて、「1は0.1が何個ですか」と助言する。 ・「ちょっといいたいにゃー」をクリックして、どんなヒントが出るか伝える。 ・青丸ボタンをクリックして答えを聞き、「理由を説明しましょう」と問いかけてもよい。</p> <p>5 「3巻 小数13」を選んだか確認する。 ・他の児童のタブレットの音が気になる場合は、場所を離したりヘッドフォンを用意したりする。 ・終了時刻を明示する。児童の様子を見て助言や励まし、賞賛をする。</p> <p>6 児童の発言を肯定的に受け止める。次時の予告をして、意欲を高める。</p>